

第5回定例校長会レジュメ

1 日 時 令和7年8月22日（金）午前9時30分から

2 場 所 島本町役場 4階 議会第3・4会議室

3 次 第

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 案件

- ① **教推** 小中一貫教育推進協議会におけるみつまるキッズプラン進捗状況について
- ② **教推** 令和8年度使用教科用図書採択について
- ③ **教推** 令和7年度学校教育自己診断について
- ④ **教推** 令和7年度保育・授業公開について
- ⑤ その他

(4) 閉会

次回の日程

10月8日（水）午前9時30分から

島本町役場 4階 議会第3・4会議室

令和7年8月12日

1 「みづまろキッズカリキュラムと総合学習を繋ぐ」

3つの力をつけるための単元計画の作成について、各校の校内研修として下記日程にて実施

第一小学校 7月22日

第二小学校 7月25日

第三小学校 7月24日

第四小学校 7月25日

第一中学校 7月24日

第二中学校 7月22日

校内研修(第一小学校)の報告の概要…[別紙参照](#)

2 第21回 島本町夏季教育セミナー全体会の実施について

日々の保育・教育活動とみづまろキッズ保育・教育ビジョンの実現を結び付けて考えることを目的として、下記日程にて島本町夏季教育セミナー全体会を実施…[別紙参照](#)

【全体会 講演について】

7月28日(月) 14:00～16:30 (会場: 島本町ふれあいセンター ケリアホール)

講演: 「みづまろキッズプランを進めていくためのカリキュラムマネジメント」

講師: 佐久間 敦史 氏 (大阪教育大学 准教授)

3 次回 みづまろキッズプランに係る取組会議について

・日時 10月30日(木) 16:00～17:00

・内容 各校で作成した3つの力をつけるための単元計画や各校の取組状況を共有する。

①研修の概要

目的 『1学期を「つきたい3つの力」の視点から振り返り、2学期の実践につなげる。』

- 活動
- ①年度初めに設定した学年の「つきたい3つの力」を再確認する。
 - ②学年グループで「つきたい3つの力」をつけるために行った具体的な取り組みを振り返る。
(年間カリキュラムをもとに、カリキュラム・マネジメントのPDCAのCのイメージ)
 - ③それぞれの観点(自己表現力・課題探求力・社会参画力)に沿って成果と課題を共有する。
 - ④それらをふまえて2学期に行う取り組みを考える。
 - ⑤学年グループで話し合ったことを全体で共有する。

目的

1学期を「つきたい3つの力」の視点から振り返り、2学期の実践につなげる。

具体的に

②成果

みづまろの「つきたい3つの力」の視点から1学期の実践を振り返ることで、2学期の実践への具体的なイメージを持つことができた。

③課題

「みづまろ=かがく遊び」という理解の先生方がまだ一定数いるので、みづまろは新しく積み上げられたものではなく、今までの教育活動の捉え直しということを折に触れて発信していきたい。

夏の研修 -「生活・総合とみづまろキッズプランを繋ぐ」-

学力保障部

日時 7月22日(火) 14:00~15:30(90分)

場所 多目的室

流れ

14:00~ 今日の目的と流れの確認

1学期の実践を「つきたい3つの力」の視点から振り返り、2学期の実践につなげる。

1学期の実践を振り返り、2学期の具体的な取り組みを考える。(40分ほど)

年間カリキュラム表などをもとに、つきたい3つの力【自己表現力・課題探求力・社会参画力】の視点で、1学期を振り返る。

14:40~ 各学年より報告(15分ほど)

(できたことばかりでなく、悩んでいること、困っていることも共有しましょう!)

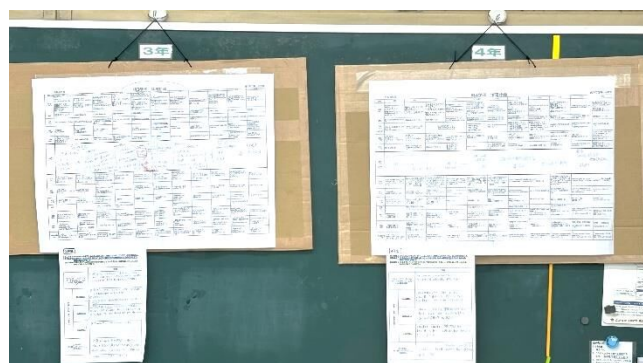
~ 小休憩 ~

15:00~ 各学年より「対話」に関する取り組みの報告(30分ほど)

2つの対話の表(R6「ききたいわ話したいわ」、R7「めざす対話」の姿)を参考に1学期の取り組みの様子を報告。
(子どもの写真や成果物があるとわかりやすいです。)

まとめ

9/12(金)のSE公開授業研も見据えて、学年の「対話」の取り組みの報告の準備をよろしくお願いします。



↑「見える化」させ職員室に掲示

夏季教育セミナーニュース

令和7年7月11日(金)発行 夏季教育セミナー準備委員会

第21回 島本町夏季教育セミナーの開催に向けて

小中一貫教育は、システムではなく、コンセプト（概念）にあたります。校種を越え教職員が移り変わっていく中であっても、全教職員で本町のめざす子ども像を共有し、児童・生徒の成長過程にとってよりよい学習環境を創っていくための考え方にあたります。

本町のめざす子ども像である「自分で考え、判断し行動できる子ども（自律）」「違いを理解し、自他を尊重できる子ども（尊重）」を育み、これからの社会を生きるすべての児童・生徒に必要な「自己表現力」「社会参画力」「課題探究力」の3つの力を幼児教育・保育の段階から高めていくために、これまで第1フェーズとして、「みづまるキッズカリキュラム」を保幼小で実施してきました。今後、第2フェーズでは、小学校3年生から中学3年生段階まで見据えてカリキュラムを計画し実施していきます。

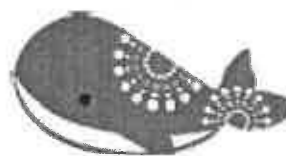
生活科と総合的な学習の時間を柱に実施されるカリキュラムは、児童・生徒にそのままコピーされるわけではなく、学習者である児童・生徒の学習経験の総体となり、実際の学習経験（カリキュラム）は個人で異なります。児童・生徒は、この学習経験を経て成長していくことから、教職員は学習の源泉であると理解できます。私たち教職員は、自分自身が児童・生徒一人ひとりにとっての学習の源泉であることに自覚を持ち、児童・生徒一人ひとりへのアプローチやケアの方法、言葉の選択等、豊かなコミュニケーションにつなげていく必要があるのではないのでしょうか。何より、本単元や本時の授業がどのように教育目標の実現につながるのか確認し整理していくとともに、児童・生徒の学習経験の総体から、よりよい手立てを考え続けることが重要になります。

本セミナーにおいて、教育目標に立ち返り、目的・目標に向けたよりよい手段や改善策について、一つひとつ問いを立て対話を通して合意形成を図ることで、本質的に教育・保育を積み上げていきましょう。また、全ての児童・生徒が「学びは楽しい」と思えるよう、私たち教職員が学びを楽しめるよう、自分の学びを自分でつくる機会となることを祈念いたします。

(夏季教育セミナー準備委員会委員長：第二小学校校長 佐々木 淳平)

① 目的 保・幼・小・中の組織的連携を図り、
児童・生徒の自律・尊重につながる実践を創造する。

② テーマ 「日々の保育・教育活動とみづまるキッズ
保育・教育ビジョンの実現を結び付けて考えよう。」



③ 日程

	午 前	午 後
7/28 (月)		14:00 ~ 16:30 全体会 <ケリヤホール> 佐久間 敦史 氏(大阪教育大学 准教授)
7/30 (水)	9:00 ~ 12:00 町教研 研究部会 <町内 各小中学校>	14:00 ~ 16:30 分科会 <町内 各小中学校>

【全体会 講演のご紹介】

7月28日(月)14:00~16:30

講演:「みづまるキッズプランを進めていくための
カリキュラムマネジメント」

講師: 佐久間 敦史 氏 (大阪教育大学 准教授)



大阪教育大学 総合教育系 准教授
学位 修士(教育学)(2003年3月 大阪教育大学)

主な経歴

2024/4~ 総合教育系 次世代教育部門、大学院 連合教職実践研究科 准教授
2020/4~2024/3 大阪教育大学 地域連携・教育推進センター 准教授
2008/4~2020/3 大阪教育大学 教職教育研究センター 准教授
1991/8~2008/3 大阪府 公立小学校 教員

主要な論文

『「ダイバーシティ大阪」実現のために学部段階で身につけたい資質・能力
大阪教育大学フラッグシップ構想が目指すもの』他

(参考)大阪教育大学 研究者情報

<https://researcher-info.bur.osaka-kyoiku.ac.jp>

令和8年度使用小学校教科用図書採択一覧

種 目	発行者略称	書 名
国 語	光村図書	国語
書 写	光村図書	書写
社 会	日本文教出版	小学社会
地 図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
算 数	学校図書	みんなと学ぶ 小学校 算数
理 科	新興出版社啓林館	わくわく理科
生 活	新興出版社啓林館	わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下
音 楽	教育芸術社	小学生の音楽
図画工作	日本文教出版	図画工作
家 庭	開隆堂出版	わたしたちの家庭科 5・6
体育 保健	学研	新・みんなの保健
英 語	光村図書	Here We Go!
道 徳	光村図書	道徳 きみが いちばん ひかるとき

令和8年度使用中学校教科用図書採択一覧

種 目	発行者略称	書 名
国 語	光村図書	国 語
書 写	光村図書	中学書写
社 会 (地理的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 地理
社 会 (歴史的分野)	東京書籍	新編 新しい社会 歴史
社 会 (公民的分野)	帝国書院	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
地 図	帝国書院	中学校社会科地図
数 学	新興出版社啓林館	未来へひろがる数学
理 科	新興出版社啓林館	未来へひろがるサイエンス
音 楽 (一 般)	教育芸術社	中学生の音楽
音 楽 (器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美 術	光村図書	美 術
保健体育	学研	新・中学保健体育
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
技術・家庭 (家庭分野)	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
英 語	開隆堂	Sunshine English Course
道 徳	日本文教出版	中学道徳 あすを生きる 道徳ノート

島教教第1720号
令和7年8月1日

各 学 校 長 様

島本町教育委員会事務局
教育こども部教育推進課長

学校教育自己診断の実施について（依頼）

標記の件について、下記のとおり実施及び提出願います。

記

- 1 実施時期 令和7年10月下旬から11月中旬（各校で具体的な日時を設定）
- 2 提出物 小学校：学校教育自己診断（小学校集計）R7【●小】Excel
中学校：学校教育自己診断（中学校集計）R7【●中】Excel
※提出していただく集計Excelファイルは、共通項目のみのものをお願いします。また、提出される前に、集計Excelファイルの「N列」に全項目「OK」が出ているかの確認をお願いします。「OK」ではなく、数字が表示されている場合は、アンケート総人数と一致していないことを表しますので、再集計が必要となります。
- 3 提出期限 令和7年12月5日（金）
下記担当まで、電子媒体にて提出願います。
- 4 その他 ・実施媒体等は各校でご検討ください。
・対象は全学年の児童生徒及び保護者、教職員とします。

以上

< 担 当 >

教育推進課 吉田・小東

電 話 075(962)0391（直通）

e-mail k-suishin@shimamotocho.jp

令和7年度使用 学校教育自己診断 小学校 (共通項目)

※ それぞれの項目について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」「わからない」の5件法で調査

1. 学校の生活について

児 童 学校へ行くのが楽しい。

保護者 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。

教職員 学校では、児童がいきいきとした学校生活を送れるよう、学校全体で取り組んでいる。

2. 「確かな学力」の育成について

児 童 学校で、自ら進んで学習に取り組んでいる。

保護者 学校は、子どもが進んで学習に取り組むように工夫している。

教職員 学校では、授業が「主体的に学ぶ力」がつくように工夫改善を図っている。

3. ICTの活用について

児 童 学校で、コンピュータやプロジェクター、タブレット端末を使った授業をしている。

保護者 学校は、ICT機器（コンピュータやプロジェクター等）を使ったわかりやすい授業を行っている。

教職員 学校では、ICT機器（コンピュータやプロジェクター等）を使った授業づくりを推進している。

4. 学校の通知表について

児 童 通知表の内容は、納得できる。

保護者 通知表は、よくわかる。

教職員 学校の通知表は、児童・保護者にわかりやすく、適切な評価が行われている。

5. 自学自習について

児 童 自ら進んで学習（宿題、予習・復習、自主学習など）している。

保護者 学校は、自主学習の取組を推進している。

教職員 学校では、自学自習力育成のため、全体で取り組んでいる。

6. 読書習慣について

児 童 読書をよくする。

保護者 学校は、子どもに読書の習慣がつくよう指導している。

教職員 学校では、子どもの読書習慣の定着に向けた取組を、重点的に行っている。

7. 「キャリア教育」について

児 童 学校では、役割を果たすことの大切さ（かかり活動や当番など）や自分らしく生きることや、将来について考える機会がある。

保護者 学校は、学年に応じて、子どもが生き方や将来について考えられるような指導や役割を果たす大切さを伝える指導（キャリア教育）を行っている。

教職員 学校では、児童が自己の生き方を見つけられるよう、各学年に応じた系統的なキャリア教育を行っている。

8. 「心の教育」や規範意識の育成について

児 童 学校では、お互いの違いを認め合い、人を大切にすることについて学ぶことができる。

保護者 学校は、お互いの違いを認め合い、人を大切にすることについて学んでいる。

教職員 学校では、お互いの違いを認め合い、人を大切にする力を身につけるよう指導している。

9. いじめ防止・対応について

児 童 学校では、いじめ防止の取組について学ぶことがある。

保護者 学校は、いじめ防止・対応の取組を行っている。

教職員 学校では、いじめ防止・対応の取組を組織的に行っている。

10. 「食の教育」について

児 童 自分の健康を考えて給食を好き嫌いなく食べようとしている。

保護者 学校は、「食育」についての取組を推進している。

教職員 学校では、「食育」についての取組を組織的に行っている。

令和7年度使用 学校教育自己診断 中学校 (共通項目)

※ それぞれの項目について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」「わからない」の5件法で調査

1. 学校の生活について

生徒 学校へ行くことが楽しい。

保護者 子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている。

教職員 学校では、生徒がいきいきとした学校生活を送れるよう、学校全体で取り組んでいる。

2. 「確かな学力」の育成について

生徒 先生は、生徒が自ら進んで学ぶことができる授業を行っている。

保護者 学校は、生徒が進んで学習に取り組むよう授業を工夫している。

教職員 学校では、生徒が主体的に学ぶことができる授業づくりを推進している。

3. ICTの活用について

生徒 一人一台端末（タブレット）を活用した授業は、わかりやすい。

保護者 学校は、ICT機器（コンピュータやプロジェクター等）を使ったわかりやすい授業を行っている。

教職員 学校では、ICT機器（コンピュータやプロジェクター等）を使ったわかりやすい授業を行っている。

4. 成績・評価について

生徒 学校が出す学習の成績・評価について、納得できる。

保護者 学校は、子どもの学力や学習状況に対する評価基準を、適切に提示している。

教職員 学校では、生徒・保護者にわかりやすく、適切な評価基準を提示している。

5. 自学自習について

生徒 自分から計画的に学習（宿題、予習・復習、自主学習など）している。

保護者 学校は、自学自習力の育成を推進している。

教職員 学校では、自学自習力育成のため、全体で取り組んでいる。

6. 読書活動の推進について

生徒 学校では、朝読書などの読書活動に積極的に取り組んでいる。

保護者 学校は、読書活動に積極的に取り組んでいる。

教職員 学校では、読書活動に積極的に取り組んでいる。

7. キャリア教育について

生徒 授業や様々な学校での活動の中で、自分の生き方（自分らしさ、他の人や社会とのかかわり、進路など）について、考える機会がある。

保護者 学校は、学年に応じて、それぞれの生き方（卒業後の進路を含む）について、考えられるような指導（キャリア教育）を行っている。

教職員 学校では、生徒が自己の生き方を見つけられるよう、各学年に応じた系統的なキャリア教育を行っている。

8. 「心の教育」や規範意識の育成について

生徒 学校では、お互いの違いを認め合う人権の大切さや社会のルール等について学ぶことができる。

保護者 学校は、お互いの違いを認め合う人権の大切さや社会のルール等について学ぶ機会を設けている。

教職員 学校では、お互いの違いを認め合う人権の大切さや社会のルール等について指導している。

9. いじめ防止・対応について

生徒 学校では、いじめ防止の取組について学ぶことができる。

保護者 学校は、いじめ防止・対応について学ぶ機会がある。

教職員 学校では、いじめ防止・対応の取組を組織的に行っている。

10. 「食の教育」について

生徒 学校では、「食」の大切さについて、考える機会がある。

保護者 学校は、「食育」についての取組を推進している。

教職員 学校では、「食育」についての取組を組織的に行っている。

島教教第 1 5 9 7 号

令和 7 年 7 月 日

各 学 校 園 長 様

島本町教育委員会事務局

教 育 推 進 課 長

令和 7 年度 公開授業（保育）の日程確認について（依頼）

標記につきまして、教育委員会事務局といたしまして、授業（保育）参観を予定しております。

つきましては、貴校園における公開日程（参観日程）の確認をさせていただきますので、別紙にてご回答いただき、8 月 2 9 日（金）までに教育推進課担当宛てに提出願います。

< 担 当 >

教育推進課 吉田・岡澤

電 話 0 7 5 (9 6 2) 0 3 9 1 (直 通)

e-mail k-suishin@shimamotocho.jp

8月29日（金）締め切り

公開授業（保育）日時

島本町立第 幼稚園・小学校・中学校（いずれかに「○」を）

	月日（曜日）	時 間		中学校のみ
		※1	※2	部活動の公開の有・無
1	月 日（ ）	午前 ～午後	午前 ～午後	有・無 (どちらかに「○」)
2	月 日（ ）	※1	※2	
		午前 ～午後	午前 ～午後	有・無 (どちらかに「○」)

※1・※2 学年等により、公開時間が違う場合、該当学年等を記入し、それぞれの時間を記入してください。
 全学年同じ時間の場合は、※1の欄に記入してください。